



7 やすらぎサロンつわ



サロンのテーマ・目的

- 1 市内の高齢者がいつまでも元気に社会参加することを目的とし、少しでも体力・気力・知力を維持するための介護予防活動。
- 2 閉じこもり高齢者の支援活動。
- 3 地区活動の一環。

開設年月日 平成17年9月25日
 開催拠点 かねやすビル2階
 連絡先 TEL：029-846-0535
 FAX：029-846-0535
 E-mail：akiyama@kss.biglobe.ne.jp
 代表者 秋山 衛

1回の参加人数 平均27.2人
 1回運営スタッフ数 平均2.5人
 利用料（参加費） 平均100円
 年間予算額 6,400,000円
 （平成20年度実績）（内訳）助成金 5,700,000円
 利用料（参加費）700,000円

活動の概要

活動の三要素

- (1) 脳の活性…パソコン・ゲーム・楽器・麻雀（指先と脳）俳句・その他。
- (2) 体力の維持…太極拳・ヨガ・ダンス・グランドゴルフ・その他。
- (3) 楽しく過ごす…パソコン・脳トレゲーム・ウクレレ演奏・日帰り旅行等。

身近な人材や施設など地域の社会資源の活用

- 地域工場の見学…ウォーキングをかねて（企業と共同）。
- 地域の学校…大学生による教室（学生は単位取得）大学と企画。
- 地域の高齢者の技能・体験の講座や教室。
- 任意団体との連携…SGC（生涯現役くらぶ）（NPOケアサービスさざんか）。

サロンの特徴

- 1 地域の企業、学校（大学・高校・小学）、他の任意団体等、地域で連携して、介護予防活動に取り組んでいます。
- 2 介護予防として「脳の活性」「体力の維持」「食生活」「楽しく学ぶ」をテーマに、独自の講座を行っています。
- 3 高齢者だけでなく、幼稚園から大学生までいろいろな世代との交流を行っています。
 また、広く海外の留学生との交流も基礎ができています。





サロン実施にあたって苦労したこと

人集め

スタッフは、基本的にボランティア活動の理解をとり、地区の任意団体や施設への募集をお願いしてきたが、障害はあまりありません。

利用者集めは、現在のところ、地区の長の理解があり、市報の配布時に回覧をお願いしています。

他には、スーパー、病院、理容院、公民館、老人施設等に刑事と配布をお願いしています。

活動拠点

グランドゴルフ等の野外活動は、地域の運動場を借りているなど、活動拠点があるので特に不自由はしていません。

現施設は100人程度まで収容できるので、それ以上や講演（介護予防）時は、区内の公民館を借用しています。

財源

現在は賃借料、光熱水費、人件費（2人分）等の補助があり最低ラインは補助で賄っています。

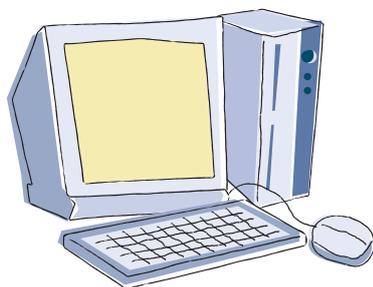
その他の費用を利用料で補い、講座や教室の材料、教材は別途負担してもらっています。

サロン開催の効果

市内の高齢者から感謝の言葉を受けています。我々も同世代で、ともに元気に何時までも社会に参加できる喜びを感じています。

他の地域や県外からも見学があり、他の任意団体との交流を深めている高齢者施設ですが、高齢者だけに捉われない考え方も必要としています。

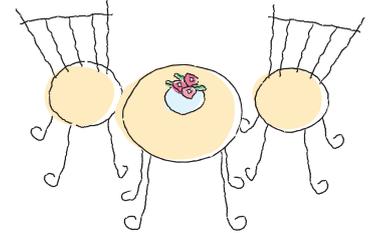
孫ほどの世代との交流時は、生き生きしています。



サロン開催の課題、今後のサロン活動への想い

現在、活動費を補助してもらっていますが、将来は自立できる団体としたいと考えています。

課題は、利用者の負担金と運営費用との差。1日30人の利用でも収入が75,000円/月となるが、運営費45万円には程遠く利用者がどの程度の負担が可能か、地区の企業、商店、個人も含めて協力がどのくらい得られるか、少しずつ先に進めたいです。



委員からのプレゼント

運営しておられる方も、講師の方も、参加者も、それぞれの人生の中で作ってこられた人と人とのつながりが、この場所で重なり合って、また“新たなつながりと生きがい”をつくりだしているような気がしました。

サロンに集う人だけでなく、地域の中にある会社や学校や任意団体とのコラボ企画もあつて、サロンが街の活性化のための発信基地になっていて感動しました。

(杉井 智子委員)